



笑

顔

NO. 75

ホームページアドレス <http://www.okabenishi-e.ed.jp>

家庭学習の手引き

2学期たくさんの学習、運動、行事に頑張った子供たち。一人一人みんな違う「頑張り」がありました。その「頑張り」を是非認めて、前向きな声かけをお願いいたします。

さて学校では、子供たちの学力向上に取り組んでいます。保護者の皆様と学校が協力し合うことで、子供たちの力は何倍にも高められます。今回は深谷市家庭学習の手引きから、各学年で身に付けたい力（国語・算数）を掲載します。ぜひ、ご家庭で確認していただき、家庭学習に生かしてもらいたいと思います。また、今年度の全国学力・学習状況調査、算数の問題を裏面に掲載しています。ぜひ、ご家庭で取り組んでみてください。（解答は本校ホームページをご覧ください。）



各学年で身に付けたい力

1年生

- 鉛筆を正しく持って、姿勢よく、ていねいに字が書ける。
- ひらがな・カタカナを読んだり、書いたりできる。
- のばす音、小さい「や・ゆ・よ・つ」、助詞（は・へ・を）を適切に使い分ける。
- 数を10のまとまりとしてみるができる。
- 1けたや簡単な2けたのたし算・ひき算ができる。
- 長さくらべができる。

2年生

- 1年生と2年生で習った漢字が書ける。
- 順序を考えながら、読んだり書いたりできる。
- 10000までの数の表し方や仕組みがわかる。
- 2けたのたし算・ひき算ができる。
- 九九がすらすら言える。
- 長さ(mm, cm, m)体積(mL, dL, L)、時間の単位がわかる。

3年生

- 1～3年生で習った漢字が書ける。
- 国語辞典が正しく使える。
- ローマ字を読み書きできる。
- 3けたや4けたのたし算・ひき算ができる。
- 2けたや3けたのかけ算、簡単なわり算ができる。
- 長さ(km)重さ(g, kg, t)時間の単位関係がわかる。

4年生

- 1～4年生で習った漢字が書ける。
- 文章のまとまりを考えて改行する。
- 億や兆の数を、読んだり書いたりできる。
- わり算の筆算ができる。
- 分数の簡単なたし算・ひき算ができる。
- 角の大きさ(度)、面積(cm^2 , m^2 , km^2) (a, ha)がわかる。

5年生

- 1～5年生で習った漢字が書ける。
- 目的や相手、種類や方法を考えて文章を書く。
- 小数のかけ算・わり算ができる。
- 分数のたし算、ひき算ができる。
- 平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積を求めることができる。
- 立方体、直方体の体積(cm^3 , m^3)を求めることができる。

6年生

- 1～6年生で習った漢字が書ける。
- 文章全体から、書き手の述べたいことを読み取ることができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 等しい比で表すことができる。
- 速さを求めることができる。
- 円の面積や角柱、円柱の体積を求めることができる。

学習時は、

①テレビやタブレット等の電源を切りましょう。

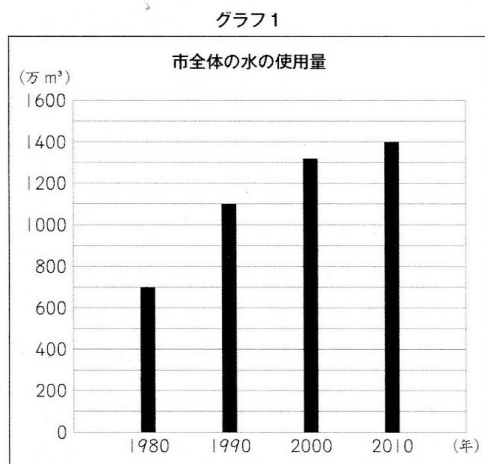
②よい姿勢で学習しましょう。

③机の上をきれいにしましょう。

集中して取り組むことで、さらに学力アップです。冬休みに意識してみてください。

2

かいとさんたちは、水を大切に使っているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、**グラフ1**を見つけました。



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、**グラフ1**からどのようなことがわかりますか。

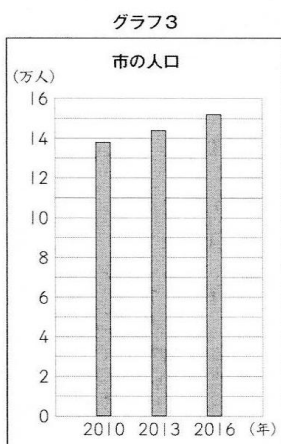
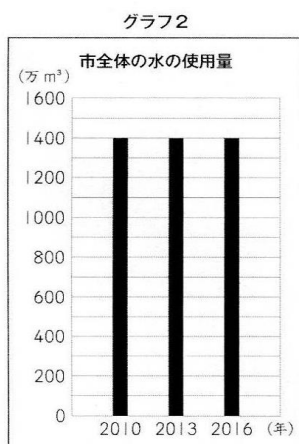
下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2** 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3** 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4** 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(2) **グラフ1**の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。

答えを書きましょう。

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思います。 **グラフ2**と**グラフ3**を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



あやのさんが言うように、**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、**グラフ2**と**グラフ3**からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1** 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2** 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3** 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4** 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

選んだわけ



わたし
私たちは、水を大切に使っているといえるのでしょうか。



市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかはわかりません。



グラフ2と**グラフ3**を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料から判断することができない事柄について判断することができるようにすることが重要です。また選んだ理由を、言葉や数を用いて自分で考え、表現する力が求められています。

算数でも国語でも、このような問題が多く出題され、身に付けるべき力が示されています。

全国学力・学習状況調査の問題や解答は、国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。

この他の問題や国語の問題にもぜひチャレンジしてみてください。

学力向上だより 笑顔 No.75 裏面の解答

- 2 (1) 3 (2) 2倍
(3) 【番号】 1

【わけ】(例) 1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。

解答類型

問題番号	解 答 類 型
2 (3)	(正答の条件) 番号を 1 と選び、次のAまたはBのいずれかで、それぞれA①、A②、A③の全てまたはB①、B②の全てを書いている。 A 一人当たりの水の使用量について、グラフから読み取った資料の特徴や傾向を基に、わけを書いている。 A① 一人当たりの水の使用量が(市全体の水の使用量)÷(市の人口)で求めることができることを表す言葉や式 A② 市全体の水の使用量が変わらないことを表す言葉や数 A③ 市の人口が増えていることを表す言葉や数 B 2010年、2013年、2016年の一人当たりの水の使用量を求めて、わけを書いている。 B① 一人当たりの水の使用量が(市全体の水の使用量)÷(市の人口)で求めることができることを表す言葉や式 B② 2010年、2013年、2016年の一人当たりの水の使用量を表す数 (正答例) ・ A 【番号】 1 【わけ】 1人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。 (解答類型 1) ・ B 【番号】 1 【わけ】 市全体の水の使用量については、2010年は約1400万m^3、2013年は約1400万m^3、2016年は約1400万m^3です。 市の人口については、2010年は約14万人、2013年は約14.5万人、2016年は約15万人です。 1人あたりの水の使用量を、それぞれ求めます。 2010年については、$1400\text{万} \div 14\text{万} = 100$で、約100$\text{m}^3$です。 2013年については、$1400\text{万} \div 14.5\text{万} = 96.5\cdots$で、約97$\text{m}^3$です。 2016年については、$1400\text{万} \div 15\text{万} = 93.3\cdots$で、約93$\text{m}^3$です。